

迎 春

い ず も



発行所 出雲駐屯地
広 報 室



第13偵察隊長兼出雲駐屯地司令
2等陸佐 中谷 一雄

新年の挨拶

隊員、ご家族の皆様、協力団体の皆様、駐屯地諸先輩の皆様、そして「出雲」をご覧の皆様、新年あけましておめでとうございませう。

皆様には夢と希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げますとともに、旧年中は駐屯地に対して賜りました御厚情に深く御礼申し上げます。

昨年は、全国で地震、豪雨、豪雪などの大規模な自然災害が頻発した年でした。駐屯地は航空自衛隊への支援を行いつつ、隠岐の島林野火災や島根県西部地震に対する災害派遣、北海道での転地演習中に発災した平成三十年七月豪雨においては、北海道から急ぎ転進して広島県へ災害派遣活動を行い、無事任務を完遂いたしました。

また、十四回目の市中パレードとなる駐屯地開設記念行事をはじめとする各種行事や地域イベントなどへの参加を通じ、地域の皆様との融和にも力を注ぐことができました。

更に、統合幕僚長、航空幕僚長、中部方面総監をはじめとする高官のご視察を受けるなど、あつという間の一年だったと思



います。

本年も、温かい民情と恵まれた自然環境を有する島根県唯一の陸上自衛隊、すなわち郷土部隊としての第一義の使命を引き続き果たしていく所存でもありますので、変わらぬご理解、ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

なお、十五回目の市中パレードとなる駐屯地開設十六周年記念行事も、昨年と同様に企画したいと考えております。更に、本年十二月八日(日)に、第四十八回中国・四国地区「銃(短)剣道選手権大会」がここ島根県出雲市で開催予定と聞いておりますので、皆様には是非ともご来駕いただければ幸いです。

結びにあたり、皆様の今後益々のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

出雲地区防衛協力会、島根県隊友会、出雲駐屯地を知る会、島根県家族会の皆様におかれては、自衛隊、陸上自衛隊出雲駐屯地及び出雲駐屯地業務隊の活動に関して平素から多大なる理解、協力を頂いていることに感謝申し上げます。

さて、昨年は、北陸地方を中心に市民生活に大きな影響を及ぼした豪雪、島根県西部地震、大阪北部地震、北海道胆振東部地震、台風21号他数個の台風の上陸など、例年以上に自然災害が多く発生した一年でありました。夏には、島根県内では江津市、中四国地方では、岡山県、広島県及び愛媛県等に甚大な物的人的被害をもたらした平成三十年七月豪雨が発生、駐屯地所在部隊は、災害派遣に従事しましたが、出雲駐屯地業務隊は、災害派遣部隊に対して初動における支援及び平素の駐屯地機能維持に関する恒常業務に加え、残留部隊として災害派遣部隊出動に伴う駐屯地特別勤務の増加を実施など陰ながら「郷土に根ざす出雲駐屯地」の



出雲駐屯地業務隊長
2等陸佐 俵 浩明

新年の挨拶

ため業務を実施してまいりました。

今年は、以前からその発生確率が高いと予測されている南海トラフ地震等の大規模自然災害発生に対する各種支援準備を、昨年実施した訓練の検証結果を基とし、また家族会及び隊友会等の方々と協力して、明日発生しても速やかに実施できる様、支援体制を更に充実させていくと同時に、数年後に予定されている駐屯地所在部隊の改編に合せて、駐屯地内の建物等の内部改修計画を概定する等、計画を逐次具体化する年でもありますが、出雲駐屯地業務隊所属隊員各人が団結、隊が一体となり任務を完遂していく所存でありますので、皆様の御支援、御協力を御願致します。





第304施設隊長
2等陸佐 石川 仁

新年の挨拶

隊友会、駐屯地協力会の皆様方、隊員及びご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は部隊改編2年目の戦力化完成年度として位置づけ、教育訓練、部内工事等により着実に練度を積み重ね、11月中旬に施設団長による施設隊訓練検閲を受閲し、「概ね優良」の成果を得ることができました。また、平成30年7月豪雨災害においても、平素から練磨してきた施設技術力を最大限発揮し、人命救助活動、道路啓開等の所命任務を完遂することができました。これも駐屯地及び部隊を支えていただいている皆様方と、隊員並びにそのご家族のご理解、ご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

我が国を取り巻く安全保障環境は、不透明・不確実な要素が多く、関係諸外国の動向からも、厳しい情勢が継続することが予想され、我々も『治において乱を忘れず』、あらゆる隊務を戦として捉え、知恵を搾り、技を磨き心身を鍛え、今日に即動し必ず任務を完遂して結果を出せる『即動必遂し得る施設隊の育成』に引き続き精進していくことをお誓い申し上げます。

今年の施設隊のスローガンは、干支である亥の目標に向かって突き進むイメージにあやかり、「魁！出雲施設隊」を掲げ隊員と共に頑張つてまいります。

最後に、平成31年が皆様にとって健康やかで実り多き年になることを心からご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



第104施設直接支援大隊
1等陸尉 上奥 徹

新年の挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は、中部方面航空隊第3飛行隊の新編にともなう支援対象部隊の増加に始まり、大隊長訓練検閲及び方面統制演習場集中整備の場に接続した後方支援隊長訓練検閲受閲等、更には未曾有の西日本豪雨災害への災害派遣等、多忙な一年ではありましたが、隊一丸となり努力し、また、上級部隊や関係部隊等の多大なるご支援・ご協力により任務を達成することが出来ました。厚く御礼申し上げます。本年も「種まき、そして将来へ」をモットーに頑張る所存です。旧年と変わらぬご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



第12基地通信中隊
出雲派遣隊長
3等陸尉 針谷 佳孝

新年の挨拶

新年あけましておめでとうございます。隊友会並びに駐屯地協力会の皆様方、出雲駐屯地の隊員、ご家族が健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

基通派遣隊長として着任以来、基地通信業務に対する皆様のご理解並びにご協力をいただき無事新しい年を迎えることが出来ましたことに心より感謝申し上げます。

今年も基通派遣隊一同「駐屯地の常続不断的通信確保」は勿論のことながら駐屯地所在部隊の各種要望に迅速に対応できるように一層の努力をする所存であります。これまでと同様ののご支援ご協力を宜しくお願いします。



第356会計隊出雲派遣隊長
1等陸尉 中山 貴行

新年の挨拶

出雲駐屯地の皆様、新年明けましておめでとうございます。

無事新年を迎えることができましたのも隊友会、駐屯地協力会の皆様方、駐屯地隊員、ご家族のご支援・ご協力の賜物であると深く感謝しております。

さて、昨年の隊務を振り返りますと方面会計隊長訓練検閲、持続走競技会、会計実務競技会等に向けた多くの練成を通じ個人の練度向上は無難なこと、部隊の絆を再確認することができました。その結果、訓練検閲及び各競技会とともに年度当初の目標を達成できたことは各人大きな自信に繋がったことと思います。

本年も、引き続き会計科の使命「作戦目的達成のため各部隊を支援するにある。」を胸に刻み派遣隊員一同、一致団結して任務に邁進する所存であります。引き続きご支援・ご協力をよろしく申し上げます。

最後に、今年1年が皆様にとって良き1年となることをご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。



第132地区警務隊出雲連絡班長
3等陸尉 高田 浩史

新年の挨拶

新年あけましておめでとうございます。気持ちも新たに新年を迎えられたこととお詫び申し上げます。

昨年3月、駐屯地業務隊連絡班長として着任し、はじめての新年を無事迎えることができましたのも、皆様方の御協力の賜物と心より感謝しております。

現在、私につきましては、教育入校中であり、4月中旬まで不在となりますが、上級部隊である第32地区警務隊(米子・海田市)が全力で、出雲駐屯地を支援してまいりますので、今後とも変わらぬ御理解・御協力の程、宜しくお願い申し上げます。

最後に、本年も隊員皆様及びご家族のご多幸・御健勝を祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。



第13後方支援隊第2整備中隊
2等陸尉 飯田 光

新年の挨拶

新年明けましておめでとうございます。無事新年を迎えることができましたのも駐屯地の皆様のご支援・ご協力の賜物であると深く感謝しております。

さて昨年の隊務を振り返りますと、5月に小隊検閲を受閲、6月からの協同転地演習、7月の西日本豪雨災害に対する災害派遣と休む暇無く訓練・災害派遣に従事しました。この間、1件の事故無く任務完遂出来たのは、日頃の訓練の成果であったと思います。

本年は「支援精到」を目標に掲げ、何時如くなる状況でも、整備・回収支援ができる小隊にしたいと思っております。

最後になりましたが、今年1年が皆様にとって素晴らしい1年となりますことを祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

駐屯地亥年男



中林 純
「万里一空」(ば
んりいっくう)の精
神で頑張ります。



伊達 哲則
健康第一、家族の
為、部隊の為に日々
前進



佐藤 英治
使命感を持って任
務を完遂する。



小村 周行
悔いを残さないよ
うマイペースで行き
ます。



柳 智博
何事も、やるから
には楽しんでやる。



藤田 亘
猪年で、猪突猛進
に任務に邁進してい
きます。



山本 祐基
慣れすぎる事無く
初貫徹



坂本 浩次
健康に気をつけて
頑張ろうと思います。



迫口 晃治
スキー練成を真面
目に取り組みスキー
指導官を取得する。



福原 侑弥
今年目標として
レンジャー教育に参
加します。



新野 大介
猪突猛進、突き進
んでいきます！



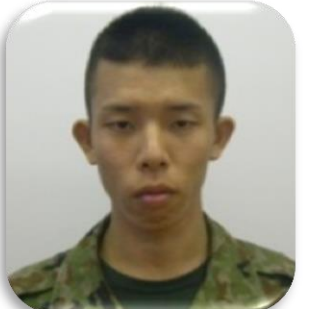
成田 健作
年男として今年は
去年以上に仕事に邁
進します。



徳永 秋司
今年は勉学及び職
務により一層の努力
をします。



吉岡 尚樹
今年はいろんな事
に挑戦する年にして
いきたいと考えてい
ます。



井堰 稜介
教育や訓練などで
しっかり技術や知識
を身につけて小隊で
活躍出来るようがん
ばります。



渡邊 優人
今年は新しい事に
チャレンジし一日一
日を大切に何事も積
極的に取組頑張りたい
と思います。



高松 伸章
陸曹候補生の指定
を勝ち取る。



松本 昌憲
初級陸曹として部
隊の原動力となれる
よう貢献します。



日下部 歩夢
初めてできた後輩
に先輩らしい姿を見
せます！



鬼頭 卓也
陸曹試験に合格で
きるように張ります
！！

祝 新成人



上田 和希
「全力運転」
エンジンを点火し「全力運転」で任務に臨み完遂する所存であります。



山本 康平
「率先垂範」
自ら進んで後輩の規範となる行動を取れるよう頑張ります。



村上 悠毅
「奮励努力」
目標に向かって、常に気持ちを奮い立たせながら、努力を怠ることなく頑張ります。



齋藤 光稀
「臥薪嘗胆」
苦しい事から楽な方向に逃げず、一生懸命に頑張ります。



檜崎 隆也
「一路邁進」
目標・目的達成の為に真っ直ぐ進みたいと思います。



三浦 鷹
「独立独歩」
頼られるような存在になるために立派な社会人になりたいです。



鎌谷 颯志
「堅忍不拔」
今の私の未熟さを恥じ、何があっても堅忍不拔の姿勢を貫いていきます。



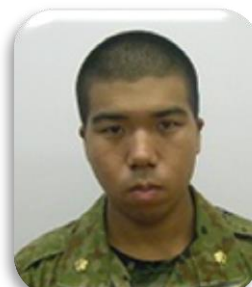
加芽田 龍彦
「思慮分別」
周囲をよく観察し、求められている事を確実にこなして行けるよう努力します。



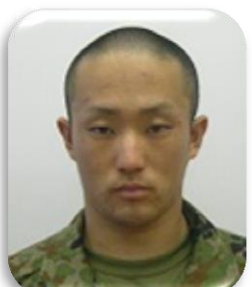
川上 大和
「堅忍不拔」
つらいことでもぐっと耐え忍んで頑張っています。



森本 夢羽
「一期一会」
「感謝の気持ちを忘れず日々全力で頑張ります。



内田 聖人
「七転八起」
初心を忘れずに日々成長しつづけていきたい。



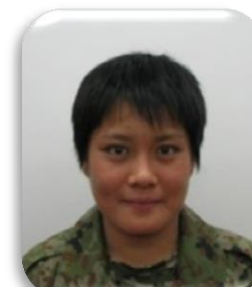
磯崎 伸也
「常に全力」
常に全力で頑張ります。



田村 葵
「有言実行」
二十年間の経験を生かして部隊に貢献できるよう日々努力します。



高橋 俊行
「有言実行」
今日なし得る事に全力をつくせしからば明日は一段の進歩あらん。



藤村 伶奈
「報恩謝徳」
「ありがとう」の気持ちを忘れず恩返しできるようにがんばります。



岩線 虎龍
「竜驤虎視」
成人を迎え「責任感」を持ち自衛官として邁進します。



木下 将
「奮励努力」
目標に向かって何事にも努力し、懸命に取り組みます！



白石 晃汰
「一期一会」
これからの人生で出会う人を大切にしていきたいと思います。





偵察隊行事



陸士特技課程「初級偵察」

平成30年10月10日から11月16日の間、平成30年度陸士特技課程「偵察」を担当し、被教育者16名に対し、斥候員としての基礎的な識能を修得させた。



▲ 厳しい状況の連続で疲労の色が見える。



▲ 敵に発見され応射し、敵を排除！



▲ 射撃準備よしっ！！



▲ 緊張で手を震わせながら爆破訓練に挑む。



▲レーダー壕を掘る隊員



▲術科試験を受ける隊員

自動二輪集合教育

平成30年11月19日から12月21日の間、平成30年度自動二輪集合教育を担当し、被教育者21名に対し、普通自動二輪車免許の取得及び操縦手として必要な識能・技能を習得させた。



◀ 斐川訓練場で教育を実施



▲ 熱心に指導を受ける学生



▲ 初めてのアクセルターン！



▲ 不整地走行で足を取られ苦戦する。

出陣式



第304施設隊



▲ 内田士長の突撃ラッパ吹奏に引き続き、D小隊長賀須井2尉の号令のもと、勝ち鬨を挙げた。

施設隊は、平成30年11月16日から22日まで、团长訓練検閲を受閲した。16日早朝、非常呼集に始まり出雲駐屯地等において応急出動準備を整え、翌17日米子において小銃の射撃訓練を実施したのち一度駐屯地に帰隊した。

17日夕刻、稲佐の浜で神迎神事が執り行われる頃、駐屯地体育館において出陣式を挙行して施設隊OB山本氏から激励の言葉を頂戴した後、勝ち鬨により部隊・隊員の士気を鼓舞して岡山県にある日本原演習場に向け前進した。

日本原演習場では、4夜5日の状況下において8連隊の陣地防御を直接支援する施設隊として、さまざまな任務を遂行した。この際、各小隊長は小隊長による良好な統御の下、隊長要望事項である「施設技術力を最大限發揮して被支援部隊の任務達成に寄与せよ。」、「基本基礎の徹底により不安定事項を排除せよ。」について具現追



求し、敵、地形、気象等を克服しつつ施設隊一丸となり所命任務を完遂した。

平成29年3月の部隊改編以来、約1年半にわたり積み上げてきた戦力化状況をつぶさに検閲官に確認して頂き評価「概ね優良」を獲得することができた。



出雲駐屯地行事

追悼式

島根県隊友会が主催する島根県出身殉職隊員追悼式が厳粛に行われました。



殉職隊員の御霊に対し国の鎮めを奏で、儀仗隊による弔銃を行いご冥福をお祈りしました。

駐屯地年末行事

隊員家族等たくさんの方々に参加頂きました。



餅つき、出雲農林高校太鼓部演奏、働くおじさん（自衛官余興）、ビンゴ大会等大にぎわいでした。

駐屯地見学

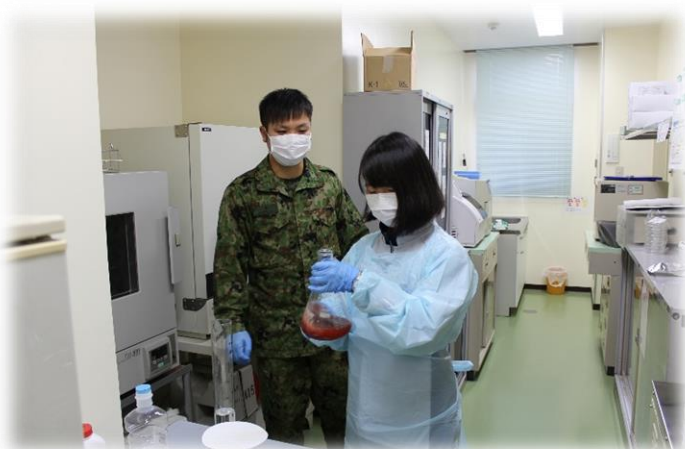
出雲市近隣高等学校の社会科学教諭の駐屯地見学がありました。



各校卒業隊員との会食に始まり、フリーフィンク及び装備品・資料館見学をしていただきました。

職場体験

防衛医科大学を目標とする中学生が職場体験に来ました。



基本教練をはじめ、自衛隊医療について沢山のことを体験していただきました。

地域イベント支援

▼BB大鍋フェスティバル(11/3)
海上保安庁とコラボレーション
(浜田市)



▼いずも産業未来博(11/3-4)
沢山の来場者に見守られた、装備品展示
(出雲ドーム)



専門学校松江総合
▼ビジネスカレッジ学園祭(10/27)
専門学校生に沢山質問を受けました。
(松江市)



護衛艦「いずも」乗員歓迎会 護衛艦「いずも」後援会



▲ギフト交換

駐屯地から「16式機動戦闘車」の模型を送りました。

11/10 護衛艦 「いずも」 参上



▲松商だんだんフェスタ(12/1-2)
職業体験で災害派遣体験をする小学生
(松江商業高校)



▲加茂よっといで祭り(10/28)
多くの子供たちとふれあいました。
(雲南市)



▲まつえ駅前元気まつり(10/27)
しまねっこが来てくれました。
(松江市)

部外大会優秀者紹介

第14回なかうみマラソン全国大会

10 kmの部 年代別

第1位

1等陸曹 竹下 陽一 (業務隊)

5 kmの部 年代別

第3位

陸士長 遠藤 佳寿美 (施設隊)

第35回湯村ジヨギング駅伝大会

一般の部 第3位

陸曹長 板垣 進 (偵察隊)

3等陸曹 植田 宗二郎 (偵察隊)

3等陸曹 小坂 宣功 (偵察隊)

陸士長 山崎 朋樹 (偵察隊)

陸士長 三浦 鷹 (偵察隊)

第47回中四国銃剣道選手権大会

優勝

2等陸曹 元木 章仁 (偵察隊)

2等陸曹 松岡 貴之 (偵察隊)

3等陸曹 瀧谷 正志 (偵察隊)

3等陸曹 平井 大毅 (偵察隊)

3等陸曹 本村 拓也 (偵察隊)